

平成27年度 特別活動部3学期マネジメント

校訓	学校教育目標	分掌がめざす生徒の姿	分掌目標 Plan	2学期の成果と課題	主な活動 Do	1月	2月	3月	到達目標	評価(Check)基準	成果と課題・提言
みずから学びみずから鍛えみんなと生きる	『みずから学びみずから鍛えみんなと生きる』を体現する生徒の育成	◎◎◎◎◎ ◎自感謝の気持ちを持つこと ◎一人ひとりの個性を認め合うこと ◎自ら課題を設定し、自ら解決すること ◎自ら目標を設定し、自ら達成すること ◎自ら行動し、自ら責任を負うこと	○『自治的集団』の育成	※多くの項目で目標数値は達成したものの、1学期から2学期の評価数値を比べると全ての項目が下がっている。 ※土曜授業の影響で部活動への気持ちも下がっているかも。 ※月に一度の部長会を開催する ※全体的にルールの徹底を行う。(学活面、部活面) 3学期は気軽に参加できるボランティア参加率を上げる	生徒会・委員会活動推進	クラスミーティング 委員長と担当教員の相談週間 若鷺カップ(給食・図書・JRC・生活)委員会常時活動 室長 正副 生徒会 学級生	第三回専門委員会 室長 正副		・フォロワー活動の具体を全校生徒が理解する。 ・フォロワーとして日常生活での委員会の取り組みに関わる。	・フォロワー活動の具体を生徒会執行部で提示する。 ・フォロワーとして委員会の取り組みに参画する意識が高まる。 ・自ら行動しようとする生徒が増える。	
					リーダー正副室長育成	3年生を送る会に向けて計画・準備				・3年生を送る会を通して1、2年生のリーダーが自覚を持つことができる。	・自発的に動き、既存の企画を自分たちの手でより良いものにするができる
					(応援団活動)	3年生を送る会に向けて計画・準備				新体制での自覚、風格を持つことができる。	自分たちで考え堂々とした取り組みをすることができる
					JRC活動推進	書き損じハガキ取 愛郷活動 エコキャップ等送 ベルマーク集め・キャップ集め・ちょボラ・(若鷺カップ)				自発的に様々なボランティア活動に参加することができる。	各ボランティア活動への参加人数30人以上
					生徒会会計	予算案に沿って予算執行を行う 監 予 度 平 査 算 成 生 2 執 徒 7 行 会 年				滞りなく予算を執行する。	特になし
					縦割り活動推進	グループ内での交流【各担任】 3年生を送る会・解団式に向けて計画・準備 解団式				・感謝の心をもてる ・感謝される喜びを感じることができる ・先輩としての自覚を持ち、自ら進んで動くことができる。	・2年生がリードして1年生を動かす姿がみられる。
					特別活動・短学活・学級生徒会活性化	開き 三 学期 学級 各学年ごとにふれあいタイム実施 短学活(ふれあいタイム)での生徒同士、生徒と担任の関係作り				各学年ごと規範意識を高めることにつながるふれあいタイムを最低4回実施する。データを残す。クラスミーティングを実施する。	4回のふれあいタイム実施。
					体育的行事への意欲的参加・文化祭行事への積極的参加	2大行事での振り返りを生かした経営				来年度に向けて振り返りアンケートの項目内容の見直しをする。	今年度中に内容項目を変更することができる。
					Q-Uによる検証	二回目の検査の検証を 検査の検証 QU検査の検証・検証結果による取り組み				・検証結果を意識した学級経営ができる	2回目の検証以降QU結果を意識した学級経営をしたクラス 10/12クラス(各担任への聞き取り調査)
					部活動・部長会 中体連調整	定例部長会 定例部長会 完全下校の呼びかけ				・完全下校がしっかりと守れる。	完全下校実施率100%